

北海道十勝総合振興局における バイオディーゼル燃料に関する取組

北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課
令和元年(2019年)5月8日

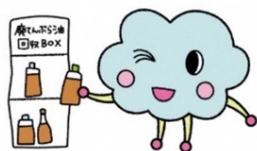
振興局の主な取組

1. 廃食用油の回収協力
2. 公用車へのバイオディーゼル燃料の利用
3. 公共工事へのバイオディーゼル燃料の利用促進
4. イベントの実施などを通じた普及啓発

1. 廃食用油の回収協力

■家庭用廃食用油再生利用モデル事業

帯広市が行っている「家庭用廃食用油再生利用モデル事業」として、帯広市、特定非営利活動法人十勝エネルギーネットワークと協定を締結し、平成20年12月から振興局での家庭用廃食用油回収を行うとともに、バイオディーゼル燃料に関する啓発を実施しています。



十勝総合振興局正面玄関の自動扉脇に廃油回収コーナーがありますので、ペットボトル等に入れてお持ち込みください↑



2. 公用車へのバイオディーゼル燃料の利用



■振興局公用車へのエコ燃料利用

平成31年4月現在、当振興局の公用車4台にバイオディーゼル燃料混

合軽油を使用し、地球温暖化対策とその普及啓発を図っています。

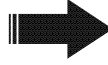
■経過

平成20年5月～8月 平成20年12月～平成21年1月	公用車による走行実験を実施 (夏と冬の2回実施)
平成21年4月～	公用車(5台)で本格的に使用を開始 バイオディーゼル燃料(100%)を使用(寒冷期を除く)
平成23年6月～	バイオディーゼル燃料5%混合軽油の市販開始に併せて、当該軽油の使用を開始。寒冷期も含め通年で利用。

平成 26 年 4 月～	公用車 1 台廃車により、今後は 4 台でバイオディーゼル燃料 5 % 混合軽油を使用。
--------------	--

■使用実績（平成 30 年度）

平成 30 年度使用した
バイオディーゼル燃料混合軽油
1. 873 キロリットル



削減した CO₂

約 0.24 トン

※使用する筈だった軽油のうち 5 % がバイオディーゼル燃料に置き換わったとして、CO₂削減量を算出しました。
※軽油の排出係数 2.58tCO₂/kl で計算
(環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」Ver4.3.2 平成 30 年 6 月による)

$$1.873(\text{k}\ell) \times 0.05 \times 2.58(\text{t CO}_2/\text{k}\ell) = 0.241617(\text{t})$$

3. 公共工事へのバイオディーゼル燃料の利用促進

■「バイオディーゼル燃料活用モデル事業」の実施

平成 22 年度から、帯広建設管理部が発注する公共工事において、請負人が当該工事でバイオディーゼル燃料を一定割合以上使用する場合、請負人の申し出により「バイオディーゼル燃料活用モデル事業」として、帯広建設管理部が指定する制度を実施しています。指定を受けてバイオディーゼル燃料を建設機械に使用し実施した事業は、施工成績評定の評価の加点対象となり、この評価が高いと総合評価方式の入札に係る評価に加点され、入札に有利に働くシステムになっています。



また、産業振興部では、平成 22 年度から調整課・整備課が発注する農業土木工事、林務課が発注する森林土木工事、平成 23 年度からは水産課が発注する水産土木工事についても、対象とし、バイオディーゼル燃料を積極的に活用しています。

4. イベントの実施などを通じた普及啓発

■「とちエコマップ『ふわリンなび!』」等の活用

平成 22 年度、当振興局管内で視察、体験、見学を受け入れるエコな施設を取りまとめた「とちエコマップ『ふわなび!』」を発行し、関係機関等に配付しました。また、平成 25 年度には、管内における再生可能エネルギー創出又は利用施設等をまとめた「とちエコマップ 2013『ふわリンなび!』～再生可能エネルギー編～」を発行しました。その中で、バイオディーゼル燃料の製造施設や利用施設も紹介しています。



■再生可能エネルギー施設見学の実施

十勝管内の住民を対象に行った環境学習ツアーでは、バイオディーゼル燃料をはじめとする再生可能エネルギーを活用した製造施設や利用施設を見学しています。

(平成 23 年度)

- ・株式会社エコERC豊頃工場にてバイオディーゼル燃料精製施設の見学及び製造体験
(平成24年度)
- ・鹿追町環境保全センターにてバイオガスプラントの見学
(平成25年度)
- ・北海道バイオエタノール株式会社十勝清水工場にてバイオガスエネルギー関連施設の見学
(平成26年度)
- ・くりにんセンター(帯広市)にてバイオガス発電設備の見学
(平成27年度)
- ・北海道糖業株式会社本別精糖所にてバイオガスプラントの見学
(平成27年度)
- ・大樹町晩成温泉にて木質バイオガスボイラーの見学
(平成29年度)



鹿追町環境保全センターにてバイオガスプラント・水素ステーションの見学

■ その他のイベント

管内で開かれるさまざまなイベント等に合わせ、地球温暖化防止対策や3R(リユース、リデュース、リサイクル)の取組に関するパネル等の展示、資料の配付、環境学習体験やゲームなどにより、環境保全に関する普及啓発を行っています。

5. 今後の取組

十勝管内は、豊富なバイオマス資源が賦存しており、バイオディーゼル燃料に関する取組だけでなく、バイオマス資源から得られるバイオガスから電気や熱エネルギーを作り出す取組が各地で行われていて、再生されたエネルギーは施設の稼働や保温などでさまざまな産業に利活用されています。また最近ではバイオガスから水素を生産して自動車燃料として利用する取組も行われ、多様なエネルギー生産、長い日照時間を活かした太陽光発電への取組など、環境に関連した産業が生まれ、発展してきています。



バイオガスについては、平成31年3月に「十勝バイオガス取組みマップ～十勝から循環型環境農業に向けて～」を作成し、その中で詳しく説明しています。

「十勝バイオガス取組みマップ」は当課ホームページからダウンロードできます

<http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kks/ecotoka/baio-gas-map.htm>

十勝総合振興局では、身近な“エコ”を進める『もっとエコなとかちづくり』の呼びかけ

人

として、住民レベルでのエコ活動を推進してきました。今後についても、地域住民への普及を

より促進させるため、気運の醸成が高まっている再生可能エネルギー等の利活用について、さまざまな取組を行っていきます。